

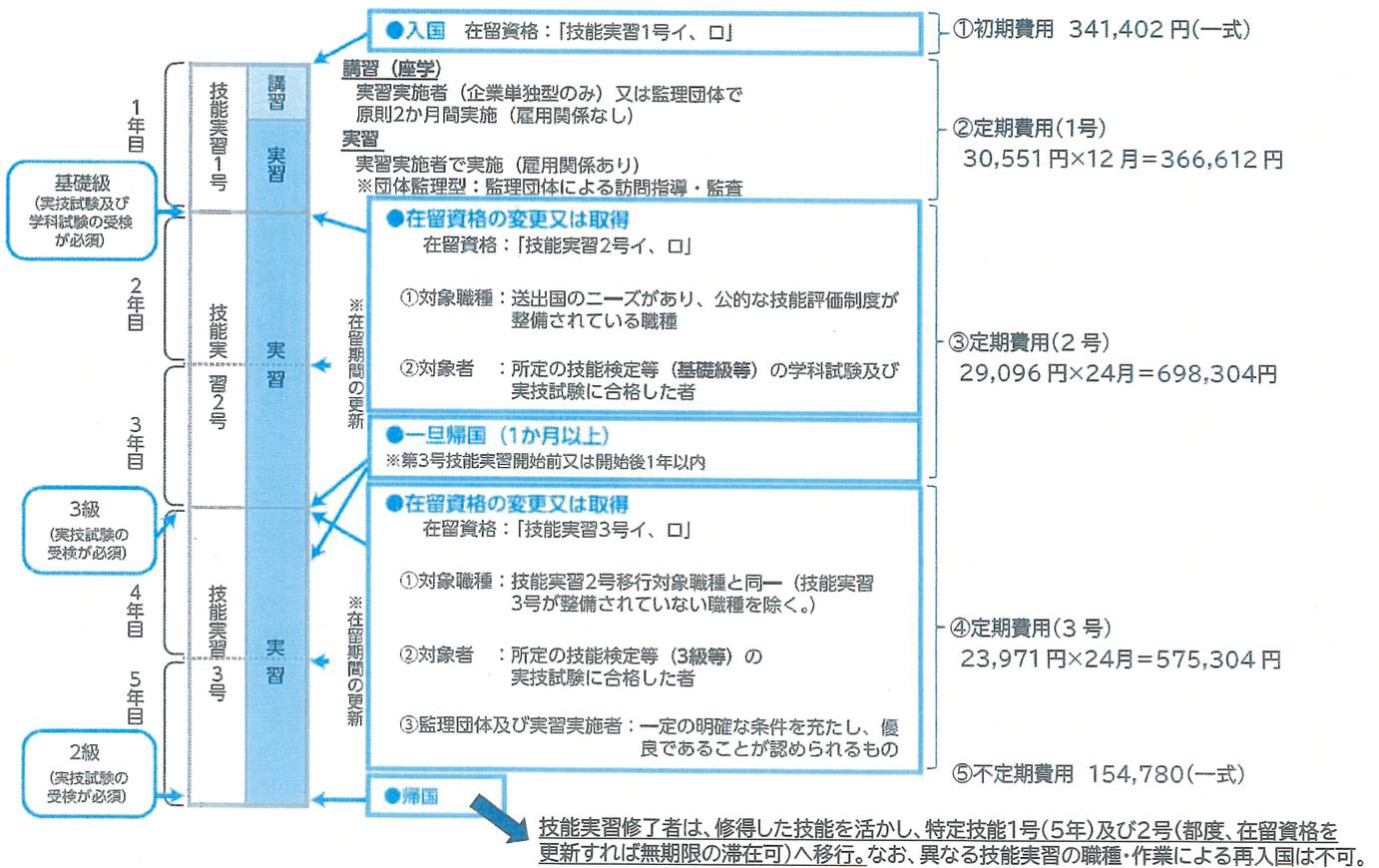
(参考) 技能実習生を受け入れる場合の入国前の人材育成から帰国までの流れ

1. 人材育成の内容

【バトナム大手の送出機関のカリキュラムより】

	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月
日本語	[日本語入門] ・ひらがな ・基本文法、基本語彙 ・カタカナ ・毎日の日記、日誌の作成 ・あいさつ ・自己紹介の内容を考えて練習					日本語能力試験 N5 挑戦	[実践日本語] ・応用文法、語彙 ・日本人講師との会話 ・反応力トレーニング ・現場の日本語、専門用語					日本語能力試験 N4 挑戦
マナー	[社会人の基本所作と意識] ・校則説明/順守指導 ・「自学」の意識 ・あいさつ 等				[社会における信頼関係] ・報連相 ・ミスを認め、改善すること ・30分前出勤の精神 等			[日本での絆づくり] ・感謝、礼儀と節度 ・日本での生活上の注意事項 ・法律とルールの順守 等				
キャリア	[目標志向への手引き] ・なぜ日本へ行くのか？ ・学習目標の設定 ・改善のメリット 等				[目標意識の実践] ・日本企業が実習生に求めること ・社会人とは 等			[計画のブラッシュアップ] ・内定後の目標と計画の設定 等				

2. 入国から帰国までの流れ



外国人技能実習生1名を受け入れるに当たって、技能実習修了までに要する費用(初期費用+各号の定期費用の年額)の各平均値は以下のとおり。これに加え、受入企業が独自に食費、居住費、水道・光熱費等を負担する場合がある。

◆技能実習2号(3年)……1,561,098 円 [①+②+③+⑤]

◆技能実習3号(5年)……2,136,402 円 [①+②+③+④+⑤]

⇒技能実習3号を受け入れる場合は、優良基準を満たす一般監理団体選択する必要がある。

なお、技能実習法に基づき、非営利団体が実習実施者(受入企業)から委託を受けて、団体監理型技能実習の実施が適正に行われるよう、指導・監督・サポートを行う監理団体へ支払う費用(監理費)の内訳は、以下のとおり。

◆初期費用：入国後講習に要する費用、募集・選抜に要する費用、入国後講習における手当

◆定期費用：監査・訪問指導費用、送出機関に支払う費用、帰国のための渡航費

◆不定期費用：一時帰国に係る渡航費、帰国のための渡航費、来日する際の初回の渡航費

※費用については、外国人技能実習機構が令和4年1月に公表した調査結果に基づく。